

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	河川改修・砂防施設整備	コード	作成者	役職	都市整備課長
		01-03-01		氏名	平田惣己治
			電話	64-1833	
			このシート作成に要した時間	3.0 時間	

この施策のアピールポイント	大雨による洪水・土砂災害から市民の生命・財産を守る。
---------------	----------------------------

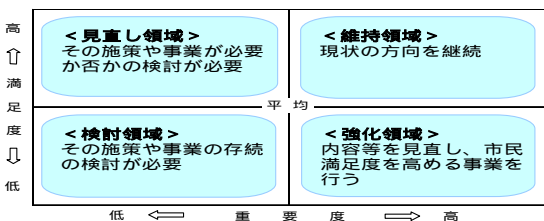
この施策の平成24年度の施政方針	
------------------	--

< 備前市総合計画の内容から記載する >

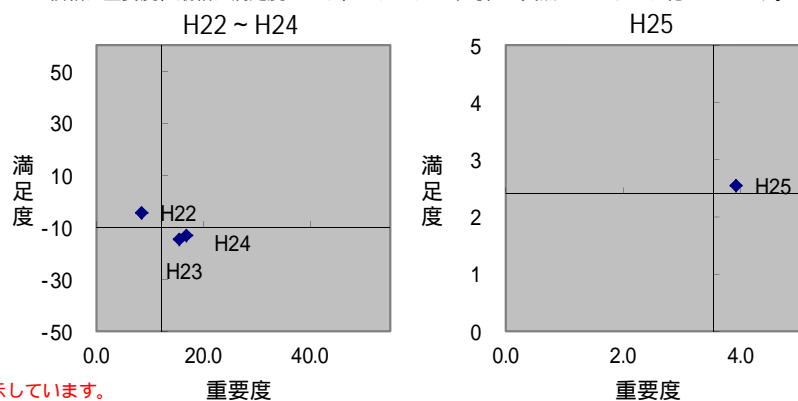
政策の体系	基本目標(大項目)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	基本施策(中項目)	災害に強いまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	市民の生命・財産を、洪水・土砂災害から守る。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市では、これまで台風による集中豪雨や高潮により大災害を受けたが、国・県・市及び地域住民が一体となって災害復旧と防止事業に取り組み、一定の成果をあげることが出来た。しかし、まだ多くの箇所自然護岸や老朽石積等未整備箇所があることから、今後、国・県の協力を得て、計画的な河川整備を図り、再び災害を受けることのないよう万全の対策をとることが必要である。また、急傾斜地や土石流危険渓流のうち、法の未指定地については新たに区域指定を受け、整備していく必要がある。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 県管理河川については、年次的な改修を県に要望していく。 市管理河川の年次的・計画的な整備を促進する。 急傾斜地崩壊対策事業については県事業として整備が進められているが、整備済みの箇所でも老朽化に伴う改修が必要な箇所もあることから、危険度の高い箇所から対策工事などの実施を県に要望する。 	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H22	H23	H24	H25
重要度(%)	8.4	15.5	16.8	3.9
満足度(%)	-4.4	-14.5	-13.1	2.6



横軸に重要度、縦軸に満足度を取り、それぞれの平均値を交点としてグラフ化しています。



H25から数値の採取方法を変更したため、別グラフで表示しています。

調査結果に対するコメント、市民の反応等	災害対策に直結することから、要望が多く重要度も高いといえるが、未整備箇所・要望箇所の多さに対して整備が追いついていない状況が調査結果に顕れているものと思える
調査対象でない施策は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H22	H23	H24			H25	H28
成果指標 河川改良箇所	目標 箇所	20.0	20.0	20.0	出来るだけ目標値に近づけるよう努めることで、整備促進を図る。	H25	15.0	
	実績 箇所	10.0	8.0	10.0		H28	20.0	
	達成率 %	50.0	40.0	50.0		-	-	
	ベンチマーク					-	-	
参考指標 市民からの要望への対応 (修繕箇所数)	目標 箇所	60.0	60.0	60	出来るだけ目標値に近づけるよう努めることで、機能回復を図る。	H25	40	
	実績 箇所	34.0	30.0	29		H28	60	
	達成率 %	56.7	50.0	48.3		-	-	
	ベンチマーク					-	-	
参考指標 ボランティア参加団体年間活動回数	目標 回	180.0	180.0	180.0	参加団体の活動回数を増やしていくことで維持管理の適正化と環境美化を促進する。	H25	235.0	
	実績 回	195.0	187.0	256.0		H28	200.0	
	達成率 %	108.3	103.9	142.2		-	-	
	ベンチマーク					-	-	
参考指標	目標					H25		
	実績					H28		
	達成率 %					-	-	
	ベンチマーク					-	-	

目標達成に必要な新規事業(裏面 施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
国・県	それぞれの管理区間との連携	連携を密にすることにより、効率的整備と効果の早期発現が期待できコストも縮減できる

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	河川改修を進めていくうえで、改修率の指標は妥当。修繕要望に対する実施率及びボランティア参加団体数は維持管理上の指標として妥当。	
2 <事業構成の妥当性> 手段は最適か?	3	概ね適当。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	不確定な要因が多く目標達成は厳しいが、着実に整備を進めていく。	
進行年度(H25年度)の取組内容(課題解決状況)		継続中の改修工事を優先的に進めていく。県管理河川についても改修要望と調整を十分に行い早期完成を目指す。また、洪水、破堤など危険箇所の局所改修を優先的に実施するとともに、土砂体積の著しい河川について浚渫を実施できるよう浚渫土の処分場所確保の検討を進めていく。	
翌年度(H26年度)の取組目標		引き続き継続中の改修工事を進めていく。県管理河川についても早期完成を目指し強力を要望していく。ボランティアや地元関係者と連携し、現状の把握や適切な維持修繕に努めるとともに浚渫土の処分場所確保を実現できるよう調整を進めていく。	
二次評価者コメント		防災面からの計画的且つ継続的な施設改修を促進するとともに、継続事業としての香登川の早期整備、地区要望の多い河川浚渫工事実施の要件整備を進めて下さい。施設管理におけるボランティア団体の参加については、経費の削減と住民意識向上の点でもメリットが多く、今後も全体的な協力を得られるように努めてください。	基本施策への貢献度 4 やや高い
役職	産業部長		
氏名	高橋 昌弘		

